



令和2年8月26日  
国立大学法人岡山大学  
湧永製薬株式会社

## 岡山大学と湧永製薬株式会社が包括的連携協力協定を締結

国立大学法人岡山大学（学長：榎野 博史、岡山県岡山市北区、以下「岡山大学」）と湧永製薬株式会社（代表取締役社長：湧永 寛仁、大阪府大阪市淀川区、以下「湧永製薬」）は8月26日、包括的連携協定を締結しました。

本協定は、両機関が研究・教育での連携協力を推進し、ライフサイエンス・ヘルスケア分野などにおける研究活動の発展及び人材育成に寄与することを目的としています。

先端的・独創的な研究シーズを多数保有する岡山大学と、独自のバイオ技術と医薬品の創製から健康補助食品の開発まで幅広い実績を持つ湧永製薬が協力し、次世代ライフサイエンス・ヘルスケア分野における商品開発のための活動を加速させるとともに、我が国の学術研究の振興及び研究成果の社会活用の推進並びに人材育成に寄与することで、世界の人々の健康と福祉の向上に貢献することを目指します。

### <協定に至った経緯>

岡山大学は、特色である異分野融合の取り組みなどを推し進めながら、医療分野における総合的な学術研究成果を挙げており、湧永製薬株式会社は、独自の画期的なバイオ技術の創製から確かな品質に基づく数々の製品を世に生み出し、人材育成体制の整備、充実にも取り組んでいます。このたび、アカデミア発シーズの育成と商品開発をさらに加速するとともに、さらなる学術研究の振興と研究成果の社会活用の推進を目指し、包括的な連携・協力に関する協定の締結に至りました。

### <連携・協力に関する協定について>

目的： 双方の有する研究施設、研究成果、人材等を活かし、連携協力することによって、ライフサイエンス・ヘルスケア分野などにおける相互の研究開発能力及び人材育成の更なる充実を目指し、我が国の学術及び革新的な医療技術の創出並びに研究成果を地域社会に還元し、同時に、これらの分野の教育を実践的に進化させることにより、社会に貢献できる優れた人材を育成することを目的とします。

範囲： 研究者等の研究交流を含む相互交流を核とし、人材育成の推進及び相互支援、双方が有する研究施設・設備の共同利用等の実施、共同研究、受託研究等の実施など、医療・創薬・ライフサイエンス分野を中心に連携・協力します。

期間： 令和5年3月31日まで（その後は1年ごとの更新）

### <湧永製薬 概要>

1955年の創業以来、「国民の健康に奉仕することを創業の精神とし、自主技術の開発による優れた製品を通じ、広く社会に貢献する」ことを理念とし、有効性に優れ、確かな信頼と安全性に基づく医薬品・健康補助食品・試薬・診断薬の創製と創薬研究に取り組んでいます。独自の製法による熟成ニンニク抽出液を配合した製品は日本では一般用医薬品「キョーレオピン」シリーズとして、海外では「Kyolic」ブランドとして世界50カ国以上での販売実績があり、人々の健康づくりをサポートしています。アメリカとドイツに設立した子会社を中心に、グローバルネットワークの構築に注力し、さらなる事業拡大に挑戦しています。



岡山大学  
OKAYAMA UNIVERSITY

湧永製薬株式会社

## PRESS RELEASE



湧永製薬広島事業所で協定書を手にする那須 保友理事（研究担当）・副学長（左）と  
湧永製薬 湧永 寛仁社長（右）

### <お問い合わせ>

岡山大学研究推進機構 嵯峨山 和美

（電話番号）086-251-8916 （FAX 番号）086-251-8961

湧永製薬株式会社 経営企画部 鈴木 千絵美

（電話番号）03-6682-4399 （FAX 番号）03-3353-3052

